



支部和浦報会

第 75 号

平成25年 8月 1日 発行

発行人
埼玉県行政書士会
浦和支部

支部長 赤坂 昌雄

赤坂支部長3期目への挑戦

平成25年度 定時総会

5月11日(土)午後3時より、さいたま市民会館うらわにて、定時総会および政治連盟定期大会が開催されました。

嶋根賢一総務部長の司会により進行され、小栗重美副支部長の開会の言葉、赤坂昌雄支部長の挨拶のあと、司会者一任により佐久間康会員が議長に選出されました。まず定足数の確認があり、4月1日現在の会員数244名に対し157名(うち委任状による出席103名)の出席を得て、本定時総会が有効に成立していることが報告されました。

続いて、議長より議事録作成人に関貴子会員、議事録署名人に道正尚志会員が指名され、上程された6議案の審議に入りました。

第1号議案平成24年度事業報告および第2号議案平成24

総務士会浦和支部



挨拶をする赤坂支部長



円滑な議事運営をする佐久間議長

年度収入支出決算報告・監査報告が一括上程され、嶋根総務部長および山崎智博経理部長がそれぞれ説明し、いずれも挙手多数により原案通り承認されました。

続いて、第3号議案平成25年度事業計画および第4号議案平成25年度収入支出予算が一括上程され、嶋根総務部長および山崎経理部長がそれぞれ説明しました。第4号議案についての質疑に対し山崎経理部長が回答し、その後、それぞれ挙手多数により原案通り承認されました。

第5号議案では、任期満了に伴う平成25・26年度支部役員の変更の件が上程され、赤坂支部長以下新役員が選任、承認されました。

最後の第6号議案では、本会定時総会代議員24名および



乾杯の発声をする 関相談役

予備代議員2名が選出され、全ての議案の審議が終了、議長が退任し、吉野敏和副支部長の閉会の言葉により、総会は閉会しました。

しばしの休憩後、政治連盟定期大会が開催され、引き続き佐久間会員が議長に選出されました。平成24年度収入支出決算報告・監査報告、平成25年度収入支出予算、本会定期大会代議員及び予備代議員の選出の議案が上程され、いずれも原案どおり承認され、赤坂支部長の閉会の言葉にて終了しました。

その後、同会場にて懇親会が開催され、田口邦雄相談役の開会の言葉、赤坂支部長の挨拶「この2年でしっかりとしたい」と続き、来賓の近藤定雄本会副会長と小川晃川口支部副支部長よりご祝辞をいただきました。

関健一相談役の乾杯の発声により祝宴に入り、東日本大震災以来恒例となった東北の

地酒を頂きながら歓談、カラオケを楽しみました。最後にこれも恒例となった「上を向いて歩こう」「青い山脈」を全員で合唱し、矢鋪昭二相談役による中締め、赤坂博道顧問による本締めで閉会しました。

(経理部 関 貴子)



議長を囲んで記念撮影

支部長挨拶



支部長 赤坂 昌雄

3期目の支部長を拝命いたしました赤坂です。

この4年間ご協力くださる会員の皆様と良いスタッフにささえられて、なんとかやってこられました。誠にありがたいことです。

支部規則に任期の定めはないとはいうものの、3期支部長職を続けるのは、それなりの事情があるものと御理解ください。

さて、私は2年前、規則の改正等を通して支部の基盤を盤石なものとするべく努力すると書きました。支部規則の改定は未だ草案段階ですが、今後も着実に実行していきます。

また、今年には浦和支部創設50周年にあたります。実は、もつと前からあるのですが、最初は区割り程度のものであったらしいので、独自の組織をもつ団体としては50周年であると考えたら良いと思います。これについては、多くの会員が参加できるような行事を考えております。

ところで、支部は単に本会

の事務連絡係ではありません。それ自体、独自の規範を持った自律した団体です。自律した団体ですから、相応の組織を持たなければなりません。また、それらの組織が、ばらばらに存在するのではなく、相互に有機的に機能する必要があります。私は、そのような構想をもって次期執行部に引渡していきたくと考えています。そのためにも、新しい会員の方は、是非積極的の会に参加して知恵を出していただきたいと思います。建設的なご意見は大歓迎です。

支部役員挨拶



支部長 小栗 重美

引き続き副支部長をさせていただきますことになりました小栗です。

本年は担当が総務・企画・広報と3部門になりましたが、各部長は大変意欲に富んだ方ばかりですので、私が足を引っ張りぬようにして、今まで以上の成果を出していただけるようにご協力させていただきます

いと考えております。

行政書士法の改正案も動きが出ています。現行法の枠内においても、まだまだ我々の取り組み、認知度共に充分でないものが沢山あると思います。またこの大変広い業務範囲の中で、いくつもの業務に習熟するだけでも勉強の毎日であることと思えます。そうした中で支部が会員の皆様にとのようなことをしていけるか、そして同時に会員の皆様が支部をどのように活かして行くかということが重要な意味をもつてくるものと思えます。

そのためにも支部活動には是非とも多くの方のご参加をいただき、ご協力を賜りたいと思っております。本年度もよろしく願います。



支部長 嶋根 賢一

このたび、支部総会において副支部長に選任されました嶋根賢一です。

担当は、経理、渉外監察及び厚生部です。

いままで経理、総務は経験していますが、渉外監察と厚生は初めての経験であり、また副支部長という大役を仰せ

つかり、緊張しています。

浦和支部は、今年、創立50周年を迎えますが、私は登録から今年で15年です。50周年は無理でも、30周年は迎えたいと思っております。今後、経済状況・社会環境が大きく変わる可能性があり、我々行政書士にとっては厳しい時代が来る予感がしています。

いずれにしろ日頃の積み重ねが大事だと思いますし、常に精進を心がけていきたいと思っております。

副支部長の役割ですが、支部規則によると「支部長を補佐し」とあり、支部長が「支部の職務を統轄し」、部長が「支部の業務を主管」します。支部の業務がスムーズに運ぶよう、目配りし、臨機応変に動くということかと、思います。

ただ、何分にも行き届かない点があると思えますし、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかもしれません。その節はご遠慮なく、ご指摘ください。

最後に、赤坂支部長のもと、魅力ある支部活動、支部会員のためになる支部運営の一助となるよう努力していきますので、皆様のご協力の程、よろしく願います。



支部長 福永 正子

副支部長の就任にあたりまして一言御挨拶申し上げます。

日頃は会の運営にあたりましては会員の皆様方の御協力に感謝申し上げます。今後とも、御協力の程、御願申し上げます。今年、役員人事も新しい方が加わりましてますます充実した会の運営が期待されます。また、本年度は浦和支部50周年という記念すべき年に当たり、50周年プロジェクトを企画しております。大勢の皆様のご参加を御待ち申し上げます。

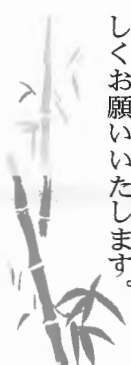


総務部長 山崎 智博

このたび役員改選にあたり、総務部長に任命されました山崎智博です。

皆様にはこれまで経理部長としてご協力をいただいていたまいりましたが、更なるご協力をお願いしないと務まらない要職を仰せつかりました。

拝命の際に支部長からは「総務が支部運営の要です。しつ



かりやっつてくださいます」との激励をいただきましたが、重責であることは十分に理解しているものの力量不足も甚だしいところなので戸惑いもあります。

しかし、お受けした以上は言い訳ばかりしていても始まりません。拙いながらも全力を尽くすことで浦和支部の伝統を汚すことなく赤坂支部長を支えていきたいと思えます。

また今回の総務部は、中島由雅副部長、久木田英樹部長とかなりフレッシュなメンバーが揃いました。総務については初心者ばかりですので、多くの皆様の支部活動へのご参加が支えとなります。多方面からご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



経理部長
藤田 義晴

日頃より経理部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。この度、経理部長の重任を拝しました藤田義晴でございます。どうぞ、宜しく願います。

さて、今年度の経理部の重点施策を次の3点といたします。

①支部会費の

口座振替制度の推進

②浦和支部50周年
プロジェクトの支援
③市民相談日当支払いの
システム化

口座振替制度は、前任の山崎部長の努力により実現した画期的な仕組みです。今年度は、具体的な実施と課題の解決、次年度にむけ、より多くの会員に本制度をご利用いただけるよう、広報活動等とおして、推進していきます。

50周年プロジェクトは、一般会計に支障をきたさぬよう、特別会計による予算編成を行い、記念事業の円滑な予算執行をサポートします。

市民相談会の日当支払いにつきましては、これまで、特定の事務所のご厚意により維持管理してまいりましたが、今後は、振込等の仕組みを研究し、来年度より、相談会を担当された各会員の負担の軽減と、可能な限り永続的な仕組みとなるよう構築します。

佐久間康副部長、関貴子部長ともども、よきチームワークを形成し、赤坂支部長を中心とした支部活動に貢献したいと存じますので、皆様より、ご指導ご鞭撻を給りますよう、宜しく願います。



企画部長
田幡 悦子

この度、長きにわたりご尽力いただきました吉森みどり企画部長のあとを受け、その任を仰せつかりました田幡悦子と申します。もとより微力でございますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

担当の小栗重美副支部長のご指導の下、峯尾聡副部長、小倉隆部員とのチームワークをもって浦和支部の皆様のお役に立てるよう職務専一に努める所存です。

埼玉会最大の支部会員を擁する浦和支部ですが、企画部としては年3〜4回の一般研修会、新会員・役員交歓会、近隣支部との協議会が主な業務となります。特に研修会では、多くの会員の皆様が集い、浦和支部ならではの企画を立案してまいります。変化の著しい社会情勢や、業務に必要な法改正など、アンテナを高くし、実務や現場に活かせるヒントや知恵の詰まった充実した研修会を目指してまいります。

さらに皆様のニーズの的確な把握と、アンケート等で研修会の満足度の検証を行ってまいりますので、ご意見、ご要

望のほど是非お待ちしております。



渉外監察部長
吉田 富士雄

この度、役員改選において、渉外監察部長に就任しました吉田富士雄です。

永年にわたり、支部運営にご尽力、ご活躍された諸先輩方の後任として、渉外監察部長をお引き受けするのは身の引き締まる思いです。

皆様ご存知のように、「監察」とは「取り締まる」というほかに「調査し監督すること」という意味があります。行政書士会は、行政書士法に基づき活動する公的団体ですが、権力組織ではないので非行政書士による違法行為を取り締まるものが出来ません。非違法行為者に対して注意を喚起し、是正を促し、さらに警告し、行政書士制度の理解を求め、行政書士の活用により国民の利便性向上に繋がるよう努めることとす。

また、違反行為の証拠などが明らかで行政手続きの円滑な実施を阻害し、国民に被害を与える可能性がある悪質なものは、告発等の法的措置も辞さない心構えが必要です。

更に、監察活動を展開するに当たり、他土業等との軋轢を生まないように、また、行政書士制度に対する支持を失う等の結果を出さないようにする心構えも必要だと思えます。行政書士法第一条の目的を念頭に置いて、微力ではございますが実効ある渉外監察活動を目指していきたいと思えますので、会員皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。



広報部長
早坂 早

またも広報部を担当することになりました。

担当副支部長は小栗重美副支部長に変わりましたが、部長以下は変更ありません。即ち、長い間広報担当をしている超ベテランの中村伸一副部長、立ち上げよりHP担当として親しみやすいHPつくりに取り組んでいる矢野直樹部員、楽しく読んでもらえる記事を期限までに本会へ提供することに奮闘している支部通信員の福本恵部員と私の計4名です。

今回の役員改正で、他部署の部長は全て新任部長です。部長以下部員も変わらないのは広報部だけでした。従い、広

報部全員がマンネリに陥らないよう気を付けて行きたいと思っております。

「元気が一番、福が来る」「笑う門には福来る」で「元氣と笑い」をモットーにやっておりますので、よろしく願います。



厚生部長 山口哲生

今年度の浦和支部の厚生部長を務めることになりました山口哲生です。

よろしく願いました。さて、厚生部の主な事業は年2回の研修旅行です。

毎年7月頃に日帰り研修旅行を、10月頃に一泊研修旅行を実施しており、毎回大勢の皆様にご参加いただいておりますが、一つ残念なことは、新会員の方の参加が少ないことです。

研修旅行という言葉のイメージから、何だか堅苦しいなと感じておられるのでしょうか？ 初めて参加して、バスの中で初対面の先輩と隣の席になつたら気まずいなと思っておられるのでしょうか？ そんな御心配は全く不要です。終始和気あいあいとした雰囲気、先輩方もすぐに親しくなれ

ます。また、さまざまな分野のベテランの方が大勢参加されますので、リラククスした雰囲気の中で、業務のアドバイスを得たり、人脈を作る事ができます。貴重な一日となりますので、新会員の皆様には是非参加されることをお勧めします。

一泊研修旅行は、10月5日(土)〜10月6日(日)にかけて宮城県に、被災地の現状を見、少しでも支援をという目的で計画しています。後日あらためてお知らせしますが、特に新会員の皆様のご参加、大歓迎です。厚生部の事業に参加いただいた皆様「ああ楽しかった。また参加しよう。」と笑顔で帰っていただけるよう、精一杯務めさせていただきますので、一人でも多くのご参加とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

日帰り研修旅行

予科練平和記念会館から 大洗めんたいパーク

平成25年度厚生部の最初の事業として7月20日に実施された日帰り研修旅行は、予科練平和記念会館、那珂湊市場、アクアワールド大洗、大洗めんたいパークを巡るというバラエティーに富んだ内容の研

修となつた。

当日参加者は、さいたま市役所に午前7時40分に集合。大型サロンバスに乗車した総勢33名は、勇躍市役所を出発した。バスの中では、赤坂支部長の挨拶のあと、厚生部長による自己紹介で部員の紹介があり、その次に新会員の参加者を紹介した。その後に参加者の自己紹介が始まった。車内の後ろの方では、早くも宴会となつていて賑やかなうちにバスは進んでいった。

9時30分には予科練記念会館に到着。同館歴史調査委員の戸張礼記氏(元予科練第14期生)による館内の説明が丁寧になされた。また記録ビデオの映像が流され、空襲、特攻など臨場感あふれる内容だった。最後に全員で戸張氏とともに会館前で記念撮影をした。



予科練平和記念会館にて

出発まで少し時間があつたので、隣接する雄翔館を訪れ、予科練戦没者の遺書、遺品を見学した。

10時40分にはバスは出発。12時には那珂湊市場に到着。ヤマサ食堂での昼食となつた。食事は盛り沢山で、時間内でも食べ切れない会員もいた。13時出発。約10分でアクアワールド大洗到着。



アクアワールドにて

水族館の前でも記念撮影。

館内は家族連れが多く大変な混みよう。イルカショーがあるというので並んで待つことに。14時からイルカショーが始まった。約30分の演技だったがユーモアたっぷりですばらしかった。

15時出発。同15分大洗めんたいパーク着。館内の工場を見学。明太子の説明を受ける。すけそうだから明太子と呼び、その子だから明太子とのこと。

但し辛塩のものをいい。甘塩はたらこという、とのこと。勉強になりました。

16時出発。バスの中で行なっていた自己紹介もこの頃には終了。17時50分には出発地のさいたま市役所に無事到着。今回は参加者も多く、会員相互の親睦が図れた研修旅行でした。(厚生部 利根澤誠)

訃報

小栗重美副支部長の御尊父小栗重昭元顧問が6月16日ご逝去されました。同氏は黎明期の支部運営に大変ご尽力され、支部の礎を築かれた方でした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

赤坂支部長の3期目としての執行部が発足し、支部事業が計画に基づき始動しました。今回広報紙も校正稿をPDFファイルにして、メール配信により広報部全員で校正しました。A4サイズ4ページに限られた紙面なので、紹介する記事も過不足があり、ご期待に添えないところもあるかと思ひますが、ご容赦ください。(広報部 中村伸一)